



# ビアフェスタ・会員レター

第 47 号



宍道湖の夕日(島根県松江市)



宍道湖沿いを走る一畑電車デハ二  
映画「Railways」



日本三大船神事「ホーランエンヤ」

## ●ビアフェスタ会員の皆様へ

暦の上では立秋ですがまだまだ暑さが厳しいですね。  
いつもビアフェスタをご利用くださりまして誠にありがとうございます。

この会員レターは今月からメールでお送りすることになりました。  
今まで以上に気持ちを込めて作成し、今まで以上に楽しく読んで頂ける  
様、努力して参ります。

さて、今月の地ビールは、島根県松江市の島根ビール様からご提供い  
たきます「松江地ビールビアへるん」6本セットです。  
島根県の県庁所在地でもあり城下町でもある松江市。夕日がきれいに  
見られると有名な宍道湖があり、旧来より「水の都」と言われてきまし  
た。

ここ数年、石見銀山が世界遺産に登録されたり、パワースポットブーム  
で注目されたり、島根を話題にした映画が上映されたりと今、島根県は  
非常に熱い観光スポットとなっています。また、温泉も各所にあり、特に  
松江市内にある玉造温泉は古くから美人の湯、薬湯としてその名が伝  
えられ、温泉街は玉湯川の東西に独特の湯の街情緒をかもしだし、多く  
の観光客で賑わっています。

松江城の外堀、内堀をぐるっと遊覧できる船がありますが、乗り場の1  
つ「松江堀川ふれあい広場」にはビアへるんビールの工場をガラス越し  
に眺めながら出来たてのビールが頂けます。

人も気さくで、食べ物も美味しく、観光スポットも沢山ある島根県に行  
ってみてはいかがでしょうか。

ここで当ファン倶楽部「ビアフェスタ」のご紹介をさせていただきます。  
ビアフェスタは毎月一度、ファン投票をもとに選ばれた地ビールを  
(1)計画生産ゆえにできたて一番蔵出しを  
(2)計画配送で美味しいチルド配送によって  
(3)管理費用の低減で実現した割安料金で  
味わうためのメンバーズ倶楽部です。

世界中の料理文化が繚乱と花咲いている日本で、いつも「とりあえずの  
ビール」ではさびしくありませんか？

我々が会員の皆様にお伝えしたいものそれは、せめて週末ぐらいは自  
分へのご褒美を・・・ビールジョッキで豪快に飲むビールではなくて、グラ  
スでまったり味わう地ビールで、過ぎし日の一週間をゆっくりと振り返  
る、若しくはこれからの楽しい一週間に思いをはせる、なんてとっても素  
敵だと思いませんか？

サポートスタッフ一同頑張りますので是非応援してください。日本のビー  
ル文化をさらに充実させていきましょう。どうかこれからも長いお付き合  
いをいただけますよう宜しくお願い申し上げます。

まだまだ暑さが厳しいので体調をくずされませんよう、お身体ご自愛下  
さいますように。

地ビールファン倶楽部「ビアフェスタ」一同より。

平成 22 年 8 月 吉日



松江地ビールピアへるん

## ●今月のビールのご紹介

### 「松江地ビールピアへるん」

神話と縁結びの国。出雲大社と日本海の自然に囲まれた古きよきまち松江で 1999 年に造りはじめました。

松江地ビールピアへるんは目指しています。

日本で飲んで美味しいビール。

松江で飲んで美味しいビール。

ビールを飲むなら松江の料理、日本の料理といっしょに楽しみたい。

だから、地ビールが飲みたい。様々な料理、様々な友人、様々なシーンで楽しんで頂きたいから世界の伝統的なビール製法を用いつつも、あえて、全く味の違う様々なビールを醸しています。

そして全てのビールは外国ビールのコピーではなく、その伝統的なビールの製法を元に、日本人の繊細な味覚に合わせて作り上げた新しい味わいのビールです。

数々のコンテストでも認められた本格的な味わいを是非ご賞味下さい。

そして、ぜひ、お気に入りの逸品を見つけてください。

### お届けするビール

#### ■限定品 宍道湖 MOON ハニーヴァイツェンボック(発泡酒)

秋の夜長に「宍道湖MOON」をどうぞ。原料に蜂蜜と小麦麦芽を使用し、フルーティで蜂蜜独自のドライスイートな味わいに仕上げました。ラベルの 12 匹 のうさぎは、地元松江で幸せを呼ぶと有名な「宍道湖うさぎ」をイメージしています。8%のアルコールによる濃厚なコクと深みでプ

レミアムな夜をお楽しみください。

#### ■ペールエール

ホップを贅沢に 3 倍使用。苦味が旨い。国際ビール大賞 銀賞受賞 イギリス発祥、アメリカ育ちのブロンズ色のビールで、カスケードホップの新品のみを使用しています。しっかりとした苦味とアロマホップの爽やかな薫りが旨い男性的なビール。

#### ■ヴァイツェン

フルーティでやさしい味わいです。国際ビール大賞 2 年連続金賞受賞。ドイツ発祥の黄白色の小麦ビール。小麦麦芽ならではのフルーティな薫りとクリーミーな泡立ちが特徴です。

女性におすすめ No.1。

#### ■縁結麦酒スタウト

焙煎麦芽使用のマイルド黒ビールです。国際ビール大賞 金賞受賞 アイルランド発祥の黒ビールで焙煎麦芽の香ばしい風味と伝統的な製法から乳糖を使用したマイルドな口当たりです。

## ●来月のビールのご紹介

### 「志賀高原ビール」

創業 1805 年の日本酒「縁喜」の蔵元、玉村本店が、2004 年末にビール醸造をはじめました。蔵人自らが育てる酒米「美山錦」にくわえ、4 年前から ホップの自家栽培にも挑戦。

ビールづくりでできる麦芽粕をつくった自家製堆肥を使用し、大麦の試験栽培も開始しました。志賀高原の湧水を生かし、「農」との関わりを深め、楽しみながら、この地ならではの、自分たちが飲みたい最良の食中酒を目指します。

今回お送りするビールは醸造開始から五周年も過ぎ、新たな挑戦として全く新しい定番ビールです。その名も「山伏」。

「山伏」というのは、ベルギーのビールにインスパイアされつつも、日本オリジナルな味を追求するプロジェクト。この山伏シリーズは、自家栽培のホップ、美山錦をふんだんに使い、シャンパンなどと同様に瓶内二次発酵させた贅沢なビールです。

山伏 壱 saison one(セゾン・ワン)と山伏 弐 saison noir(セゾン・ノワール)の 2 本セット(各 750ml シャンパンボトル)です。

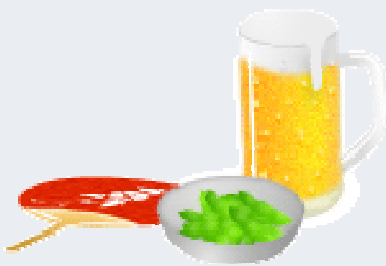


志賀高原ビール

山伏 壱 saison one(セゾン・ワン)

山伏 弐 saison noir(セゾン・ノワール)

2 本セット



富士山五合目-出発前で皆元気



ご来光



富士山頂上で記念撮影-頭痛が...



サッポロビール 千葉工場

## ● 編集後記

先日地ビールの運営者一同で富士山に登山してきました。ビアフェスタの経費削減の中ですので当然自己負担であり、当然一番安いツアーで行くことになったのですが、それはなんと夜の10時に富士山5合目にバスで着き、真夜中にそこから7時間かけて頂上を極め、そこでこの世の景色とは思えないようなご来光を眺め、あとは延々と続く下り坂を5時間かけておいて屋に5合目に戻り、途中の温泉に寄ってバイクングとお風呂で生き返ってちょうど24時間でスタート地点の新宿に帰って来たのでした。これまで、屋久島横断ツアー、厳寒の相模湾テントキャンプ、と通常では考えられない企画を超低料金で経験してきた私たちにまたまた輝かしい記憶を刻んだ旅行でした。真夏の日本で気温5度を下回る真夜中に延々と続くヘッドランプだけを頼りに歩いているとそこはもう忘れてしまった少年期に田舎で何度か見た‘まばゆいばかりの星、星、星の大きな空’、そして数分に一度の割合で訪れる流れ星、何色って表現できない真っ赤な太陽の力強い光、、、すべてがもう最高でした。参加メンバー6人が全員無事登頂でき頂上で抱き合った感動は一生もんです。もちろんフラフラにはなりましたが、これで7000円はやはり安い。小さい子供やお年よりもたくさん来ていたのも驚きでしたが外人も多かった。そう、もう少し料金を出せば8合目で宿泊できるツアーもありこれなら我々よりずっと楽に富士登山を楽しめお勧めです。登山できるのもあとなわずかな期間だそうです。「ふじはに～ぼんいちの～やま～#b」は厳しさも美しさも全ての面で「感動したあ！」(小泉首相風)ですね。(さ)

8月の下旬に揚子江デルタと呼ばれる上海、杭州、蘇州を訪れました。いつ行っても人が生きるエネルギーを感じさせてくれます。ところで2002年あたりから中国のビール生産はアメリカを超えて世界一となったのはご存知ですか？中国のビールメーカーの数は非常に多く、中小零細が大半です。なかでも青島、燕京、華潤の3社がビッグ3で最大です。中国ではかつてどこに行っても必ず現地の地名が名づけられた地ビールがあり、現地の人々は地ビールを一番好んで飲んでいました。近年M&Aにより地ビールの種類は減りましたが、今でも現地生産される地ビールの消費シェアが一番高いそうです。皆さんも中国の地方都市へ行ったら是非地元のビールを頼んでみてください。結構いけますよ。(か)

今年の夏は猛暑続きでビールがおいしいですね。炎天下でゴクゴクとのどをうるおすビール最高です。でも、気になっているのは味がしない大手のビール銘柄が増え、日本国民の舌が慣れてきたこと。敬愛するマイケル・ジャクソン氏も、著書で「世界的に有名なビールは殆ど味がしない。確かによく売れるが、多くの人気商品と同様に印象が薄いものである。大麦モルトとホップから味のしないビールを造るのは大変なことだが、褒められるようなことではない。これは良いビールではないからだ。清涼飲料水にアルコールを足したような味のするものは良いビールではなく、単に味の邪魔なしにアルコールを脳に運ぶ方法に過ぎない。」と言っています。うんうん、だから私は味のつまったプレミアム(地)ビールにがんばって欲しい(わ)

先日、千葉県船橋市にあるサッポロビールの工場見学に妻と二人で行ってきました。船橋工場では黒ラベルとエビスが作られているらしく、最後に美味しいビールも飲みます。←まあ、これが目的なんです。キレイなお姉さんが工場を案内してくれ、ビール製造の流れを説明してくれました。仕込み、発酵の樽は私が想像している樽の大きさをはるかに超えておりました。ビンや缶にビールを注入する機械も早いこと。お姉さんに案内された工場見学もいよいよ大詰めです。目的地のビールが飲める会場までの距離が書かれた壁が300m、200m、100m、50mと会場に近づくにつれ、喉の潤いを奪ってきます。会場に着くと、おつまみと冷えたグラスに次々とエビスが注がれ、参加者に行き渡ると、お姉さんから一言、そしていただきます～。出来たてのエビスはグビグビと喉を潤し、ほのかに香るホップも最高です。その後、お姉さんが各参加者に声を掛けてくれ、ビール3杯も頂いちやいました。この無料工場見学、虜になりそうですね。(く)